

■その子は、いくつ?■

若年層参加者と同様に最近増えてきているのが乳幼児を連れての参加者。

これもそれぞれ自体は何ら否定されるべきものではないが、毎回コミケのたびに迷子の放送が繰り返されるのもまた事実で、それは多くの参加者を不安にさせる。

コミケは往々にして大の大人にとってさえ、過酷な環境だ。

そんな場所に連れて来られている子供たちだって、コミケの参加者だ。

コミケ全体の環境問題として、可能な限りサポートはしてほしい。

その子は、次代のコミケを受け継いでいく1人かもしれないのだから。



●乳幼児を連れての参加のガイドライン

コミケは乳幼児にとって環境的に安全な場所ではないことを十分に理解し、往復の移動も含め、子供の安全の確保を最優先事項とする。

子供には必ず迷子札を分かりやすい位置に表示する。
(この記事の最後に【迷子札】という用紙が用意されています、ご利用ください)

子供は大人以上に熱や人ごみに弱いため、未明からの行列参加、来場時、撤収時の混雑を避け、会場滞在時間を可能な限り短くするよう事前によく計画を立てる。

常に子供から目を離さず、自分の傍を離さず、ある程度の年齢でも1人で待たせておいたりしない。

子供とはぐれた場合は下手に探し回らず、すぐに各ホールインフォメーションに連絡。また放送で自分の子供と思われる情報が流された場合は全てに優先して確認に行く。

万一来場前、子供の顔や服装を携帯電話のカメラなどで撮影しておくことよ。

子供であってもコスプレのままの来場は禁止。必ず更衣室で着替えさせる。

子供の体調に常に注意を払い、少しでも具合が悪そうなら我慢させずすぐに救護室へ。また、その時点で切り上げて撤収する判断を。

飲物は常に携帯させ、脱水症状を起こさないようこまめに水分補給をさせること。

子供の分の着替え、健康保険証、救急薬（下痢止/解熱剤/痛み止めなど）は必ず用意し、緊急の場合に対応できる用意をしておく。

会場撤収後はまっすぐ帰宅し、子供を早く休ませる。

●一般参加者の子供対応術・基礎編●

●自分の周囲に乳幼児を連れて参加者がいる場合は、バッグ、カートなどの扱いをより慎重にし、誤ってケガをさせたりしないよう注意する。

また、故意に子供を驚かせたり、危険を感じさせるような言動を取らない。

●混雑した通路やホール内でも子供の周囲にはある程度の空間的な余裕を確保するように協力しあい、『子供を通してあげてください』などのように積極的に他の参加者にも注意を促す。

●子供（未成年者含）に成人向けの同人誌を見せないように努める。

●迷子を発見した場合は親を探そうとして連れ歩くなどせず、すぐに近くのスタッフに知らせる。

●何らかの手助けが必要そうな場合には、積極的に協力する。また、トイレなどの順番も可能な限り譲るようにし、子供の心身の負担を低減するよう努める。